

2021 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	中嶋 奈津子
研究テーマ	神楽の継承と伝播の研究—なぜ、早池峰神楽は継承できたのか—
研究概要	岩手県花巻市の早池峰神楽（岳神楽・大償神楽）の近現代における継承と伝播の過程を明らかにし、かつ長期に渡り神楽の存続を可能とした伝承システムを解明する。さらに、周辺の神楽と比較することで、岳や大償の神楽を伝播の頂点とする従来の「早池峰神楽」像を再考し、盛岡藩領における早池峰山麓の修験系神楽の広がりを解明する。

1. 研究活動の概要と研究成果	令和3年度は、早池峰大償神楽の伝播の過程を明らかにするために、弟子神楽が複数存在する花巻市石鳥谷・大迫町・紫波町での調査を行った。この中で、師弟関係を示す複数の歴史的資料が見つかるなどの成果をあげ、神楽の伝播の課程を解明することができた。弟子の成立時期を検討すると明治時代以降弟子は成立するが、とくに1955年以降に成立した複数の弟子との師弟関係が、伝承のシステムとして機能していることがわかった。
2. 学術論文・学会発表等	<p>〔論文等〕</p> <p>①単「早池峰系関口神楽の成立について」『東北民俗』第55輯 pp.51~60、東北民俗の会（2021年6月、査読有）</p> <p>②単「早池峰大償神楽の師弟構造について」『佛教大学総合研究所紀要』第29号 pp.93~108、佛教大学総合研究所（2022年3月、査読有）</p> <p>〔発表〕</p> <p>①単「新たな企画により、コロナ禍での民俗芸能の維持に結び付いた事例」日本音楽芸術マネジメント学会 第13回夏の研究会（2021年8月21日オンラインリモート会議による）</p> <p>②単「早池峰系関口神楽の成立と伝播について」第73回日本民俗学会年会（2021年10月9日 オンラインリモート会議による開催）</p> <p>③単「早池峰大償神楽の弟子神楽について」東北民俗の会 2021年度12月例会（2021年12月8日 会場：仙台市生涯学習センター）</p>
3. 競争的資金等への応募と採択	2020年度科学研究費（基盤研究C）「神楽の継承と伝播の研究—なぜ、早池峰神楽は継承できたのか—」（採択期間2020年4月1日~2023年3月31日）
4. 今後の課題	<p>①岳・大償神楽の弟子の形成過程と伝播経路の明確化。継続を可能とした条件の検討。</p> <p>②岳・大償神楽以外の早池峰山麓の神楽集団の特質の明確化と継承状況の確認。</p> <p>③各調査地での資料（神楽本や伝授書など）や文献の収集とその検証。以上3点を継続課題とする。</p>